

# 市民版

ドイツの木馬



石川 すみ  
中部春陽会所属(名古屋)

ニュース、情報は社会部へ  
231-7333 Fax201-4331  
Eメール  
shakai@chunichi.co.jp  
中日新聞へのご意見は  
読者センターへ  
221-0800 Fax221-0819  
Eメール  
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は  
最寄りの中日新聞販売店へ

## 上野天満宮

学問守護・厄除招福・交通安全  
名古屋天神

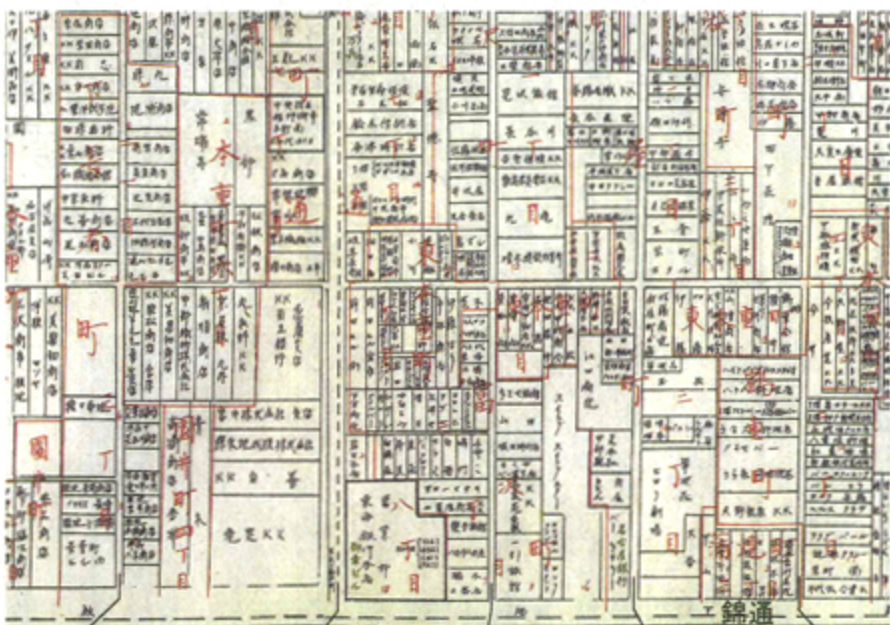
名古屋市中区千種区赤坂町4-1-89  
電話052-661-0100 FAX052-661-0101

- 合格祈願 ●厄払い
  - 自動車事故 ●安産祈願
  - 初宮詣り ●七五三詣り
  - 地鎮祭 ●竣工祭
  - 各種二祈禱 ●出張祭
- 年中受付

# 半世紀前の名古屋地図

## 北見さん制作 旧町区割り一日で

今から五十四年前の一九六〇(昭和三十五)年当時の名古屋中心部の様子を盛り込んだ詳細な地図を、西区市場木町の経営コンサルタント北見昌朗さん(五十)が制作した。このころは中心市街地の地名が変わる直前。城下町の名残を残す旧町名が並び、昔のまちの雰囲気が伝わってくる。(佐藤航)



市街地を東西に延びる蒲焼沿いの「蒲焼町」。現在の中区丸の内一に当たる堀川沿いの「木挽町」。六〇年発売の住宅地図をベースにしたB1判二枚の地図は、住宅や店舗など一戸一戸が細かく記され、歴史ある旧町の

境界線もはっきりと引かれている。

もとは地域の経済史を研究していた北見さん。史料にたびたび出てくる旧町名を学ぼうと思ったのが、地図を作るきっかけとなった。



北見昌朗さん

旧町名復活の市民運動を続けている北見さんは「地名には、それぞれ由来がある」と強調する。かば焼きを売る店が軒を連ねていた蒲焼町、名古屋

ターネットの古書販売サイトで明治二十年代の古地図を購入。「当時の街並みが手に取るように分かる」と古地図の魅力に取りつかれ、江戸時代から昭和にかけての地図を次々と買い集めた。

眺めるだけでは飽き足らず、やがて収集した古地図を基に自分で名古屋の地図を作るようになった。これまで江戸編、明治編、大正編と各時代の地図を制作。今回の「昭和編」は第四弾になる。昭和編の大きな特徴へ。

北見さんが作った一九六〇年の名古屋の地図の一部。旧町の区割りが細かく引かれている。